



人間交差点

校長 越智 宏明

1月のある朝、突然、生徒が校長室へ来て、「校長先生、これから体育の授業でダンスの発表をやるので来てください!」と手作りの可愛い招待状を手渡してくれました。これでこの日の「最優先事項」が決定!

ワクワクする思いで体育館にお邪魔しました。

生徒たちがグループごとに振り付けを考えた創作ダンスは想像以上のクオリティでした。息の合ったステップに見事シンクロしたパフォーマンス。何より全員笑顔で、楽しそうに踊る姿そのものに深い感動を覚えました。ケツメイシというグループに「人間交差点」という歌があります。

♪ 僕が歩くこの道は 君の道とぶつかり合う
偶然と運命がそうさせる そこはまさに人間交差点
この世に数ある出会いの中で 時は流れて 別れ離れ
また別の道が重なってく それこそが人間交差点 ♪



楽しそうに創作ダンスを踊る生徒たち
大人になって「一緒になにかをやった」思い出話に
花を咲かせてほしいと思います。

人と人との出逢いと別れは偶然のものであり、それはまるで交差点を
行き交う人の流れのようなものだという歌詞ですが、最近、この歌詞のもつ深い意味に感じ入ることがたびたびあります。偶然人と人との縁が重なり合っそこに「思い出」という共有財産が生まれます。それは時に自分に元気を与えてくれるものかもしれないし、時にレモンを丸かじりした時のように酸っぱさが身体中に広がるものかもしれません。そしてその共有した思い出を手に、人はまたそれぞれ、別の道に進んでいくことになるのです。

更に不思議なことは、別々に進んだはずのその道は、どこかでもう一度重なり合うことがあるのです。離れた道と道が再び交差点で交わるように…。

先日、皇山自治協力会の新年会に出席しました。その中で来賓を代表して、浦和区のコミュニティ課長が挨拶をされたのですが、挨拶が終わってその課長が私のところへ寄ってきて「越智くん…?」。首から下げたその人の名札を見て驚きました。なんと中学校の時の同級生だったのです!本当に久しぶりの再会でした。中学校を卒業した後、一度だけ、昔領家の交差点近くにあった「サンクス」というコンビニで彼がアルバイトをしている時に会ったと思うのですが、それきり40年近く会ってはおらず、さいたま市の職員になっていることも知りませんでした。見た目はすっかり、浦和区の幹部職員という貫禄でしたが、しかし、私の目に映っていたのは、中学生の時そのままの彼の姿でした。

例え何十年会っていなかったとしても、「思い出」という共有財産がある者同士、時間を遡るのはあつという間です。その後は、時間を忘れて中学時代の思い出話に花が咲きました。あの先生は本当におっかなかったとか、学校行事への熱の入れようが半端なかったとか、同級生たちは今何してるとか…。まあ話しても話しても話題が尽きません。私はあまり「良い子」ではなかったため、苦い思い出の方が多かったのですが、それでも時間を忘れて語り合うことができました。おそらく二人とも、話している間は立場を忘れ、中学生に戻っていたのではないのでしょうか?新年会の会場が中学校時代の教室であるかのような錯覚さえ覚えました。

先程紹介した「人間交差点」には、次のような歌詞もあります。

♪ 立ち止まり 考え 振り返り また歩き出すことの繰り返し
出会いの数だけ他の人生とつながっているのさ 楽しいね
道は続くよ遠くまで 振り返れば無数の人間交差点 ♪

子どもたちの未来はそれこそ果てしなく、これから多くの「交差点」を横切ることでしょう。そこで一人でも多くの人と「思い出」という財産を共有してほしいと願っています。一日一日が大切な思い出の種となりますように…。